



「輝くふるさと愛媛づくり」に向けて

愛媛県知事 加戸 守行

平成二十一年度当初予算では、多額の財源不足が見込まれる極めて厳しい財政状況を踏まえ、歳入歳出全般にわたる徹底した見直しを行うなど、引き続き財政構造改革の取組みを進め、財源の捻出を図りました。編成に当たっては、厳しい雇用情勢に対応した緊急雇用対策、子育て支援や消費者行政の活性化など県民生活の安心確保対策、「地域活性化・生活対策臨時交付金」を活用した地域活性化対策などに重点を置き、県西南部の活性化や農林水産業の振興、県民が互いに助け合い支え合う「愛と心のネットワーク」の構築に取り組むなど、これまで以上に施策の「選択と集中」による財源の重点的・効率的な配分に努め、愛媛の将来を見据えた事業展開を図ることとしております。

一 国の二次補正予算に

対応した緊急総合対策

「ふるさと雇用再生特別基金」及び「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用した迅速かつ的確な雇用対策を実施するとともに、「消費者行政活性化基金」や「安心こども基金」などを設置して消費生活相談体制の拡充や子育て支援のための緊急対策などに取り組めます。

また、「地域活性化・生活対策臨時交付金」をもとに、地域活性化に資するインフラ整備等に積極的に取り組むことに加え、道路・河川・砂防等の防災対策事業については、可能な限り前倒しして実施します。

二 県民の安心・安全実現のための重点対策

喫緊の課題である県民の安心・安全の実現を図るため、治山・治水や道路、砂防施設、

交通安全施設の整備、県立学校の耐震改修などの防災対策に重点的に取り組めます。

三 愛媛の現在と未来を担う人材の育成

平成二十三年度からの新学習指導要領への移行を見据え、小・中学校の教員の授業力向上に取り組むとともに、児童・生徒の確かな学力定着・向上を図ります。

また、平成二十九年の愛媛国体開催に向けて、中学校・高等学校におけるスポーツ強化推進指定校制度などを実施し、スポーツ立県の実現に努めるほか、県民総合文化祭の開催や、平成二十二年の愛媛オペラの実施に向けた取組み等を進め、県民による新しい愛媛文化の創造を支援します。

四 助け合い支え合う地域社会の構築

「愛と心のネットワーク」を更に広く深く浸透させるため、県民総参加によるボランティア活動の活性化を図るとともに、子育て家庭における経済的負担を軽減するため、引き続き、乳幼児医療費の助成に努めます。

また、障害者の自立と社会参加の促進に向けて、障害福祉サービス利用者に対する支援の充実に努めるほか、地域医療を担う医師の育成・確保を図るため、愛媛大学医学部の地域特別枠増員と連動した奨学金貸与制度の円滑な運用を図ります。

五 安全・安心で快適な暮らしの実現

「愛媛県防災対策基本条例」の趣旨を踏まえ、自主防災組織活動のさらなる促進を図るなど、防災対策の拡充・強化に努めるとともに、地球温暖化防止のため、県地球温暖化防止実行計画の策定に取り組めます。

また、資源循環促進税を活用して、産業廃棄物の排出抑制、再資源化などを進める

ほか、多様な公益的機能を有する森林のそ生を図るため、森林環境税を活用して、県民参加の森づくり活動を推進します。

さらに、安全・安心な地域社会の実現を目指し、信号機等の交通安全施設の整備や警察署の耐震対策を進めるとともに、「食の安全安心推進条例」の制定を踏まえ、条例の周知啓発や推進計画の策定に取り組めます。

六 再生と創出によるたくましい産業の育成

厳しい経済状況にある県西南部の活性化を促進するため、基盤となる高速道路等の整備を最優先で進めるほか、団塊の世代等の移住・交流の促進、真珠のブランド化に向けた取組みへの支援など、産業の振興や交流人口の拡大を図ります。

また、若者の雇用を促進するため、ジョブカフェ愛workにおける就職相談・人材育成など総合的な支援を実施するとともに、「愛あるブランド」の育成を進め、戦略的な販売促進活動の強化に取り組む、県産農林水産物の消費拡大を図ります。

七 暮らしと産業を支える基盤の整備

高速道路の延伸など交通基盤の整備を進めることに加え、国際物流拠点として松山港外港地区などの港湾整備や魅力あるまちづくりを推進します。

八 新しい地方自治の確立

県税徴収率の向上や広告料収入の導入に努めるなど、一層の歳入確保を図るとともに、「えひめ夢提案制度」により、地域活性化に向けた取組みを促進します。

また、人口減少や高齢化により消滅の危機にある集落などの維持・活性化を図るため、地域住民が主体となった集落づくりを支援します。